

●しゃらくかい

写楽同会

令和元年5月31日 041

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

皇兼題「子供の日」 出題：読者SUさん

写真俳句



1 抵抗力は鳥を蹴散らす鯉のぼり

鯉のぼりが勢いよく泳ぎ去ると、その後の空には大きな抵抗力（空気抵抗）が、生まれるのでは・・・という想像です。「抵抗力で」と説明になるので「は」にしました。



2 新聞紙折りて兜のこどもの日

兜の折り方は未だに忘れませんね。良く遊びました。



3 なんとなく遊んでしまう菖蒲の湯

手の平や手の甲で触ってみました。
菖蒲の葉はザラついていました。



たいへん

4 こどもの日AIスピーカ代返し

AIスピーカはSmart Speakerと外国では呼ばれるもので、話しかけると応えてくれるものです。「代返」は欠席者の出席を装うために他者が代わって返事をするあの代返のことです。写真の鯉のぼりの上にある丸いものです。我が家では子供は既に家を出て、話しかけると応えてくれるAIスピーカが相手です。



5 しょうぶの日小さき兜の出番なり

陶芸をしていた頃に作った兜が毎年子供の日に登場します。



6 真っすぐに風吹き抜けよ五月鯉



7 石めぐり蟹追いまわす子供の日

連休中には磯で親子が蟹、ヤドカリなど捕まえていました。親の方も真剣でした。



8 子供の日じっと動かぬ古稀の人

俳句



撮影：北切雀

1 こどもの日街で泳ぐよ鯉の群れ

2 子は育ち夫婦二人の端午かな

同年代の友人と話していて感じた句です。

3 鯉のぼり風を孕みて満足気

鯉のぼりを見ると何だかホッとしますね。

4 すっくりと薫る菖蒲やそら真青 (まさお)

5 童心が嬉し誇らし菖蒲の湯

端午の節句には一番湯に入れた昔日の思い出。

6 足こぎの自転車早し 風五月

広場では小さな子供が得意げに足漕ぎ自転車で走り回っていました。

7 賑やかし迷子センターこどもの日

こどもの日は上野動物園は入園料が無料で子供連れで賑わっていました。お弁当食べ終わり片付けている隙に我が子が見当たりません。迷子センターに駆け込みました。どこかで見た人がマイクを持って近づいてきました。（夕方のニュースに出ていたのでびっくり！）数十年前のことでした。

短歌

春なごみ
園児のほっぺ風撫でし
リバーサイドで
一休みして

準坊

墨田公園の墨堤にて。
自画自賛のほっこりする写真が
撮れましたので写真短歌に
してみました。



川柳

手を繋ぎいつもの外遊旅費は誰 準坊

政府専用機のタラップで笑顔振りまくアキエさん。誰に手を振ってるの？

三本締めついでに自分の首も締め 準坊

千秋楽の白鵬三本締めでお灸を据えられてしまいましたね。

新元号新紙幣へと気をそらせ 準坊

忘れません！「モリカケ・統計不正・忖度政治」等の数々を。

四年目の兜もやはり新聞紙 北切雀

女腹の家系に男が生まれた！ が、ガチで祝うのは雛祭り。

写真投稿



準坊

雪柳

隅田川の川岸で撮影。

本当に雪が降り積もった様な綺麗な雪柳でした。

iSAMU 5点



1 牡丹の花



2 笠間の焼き物



3 大手鞠の花

4 と 5

レインボーブリッジからの眺め

5月7日にレインボーブリッジを歩いて渡ってみました。

写真は橋上から浜離宮方面を映したのですが、その右方向は有明、辰巳方面のオリンピック施設やタワーマンションが林立しています。



俳句では「花」は「桜」になります。日本人にとって桜は特別、今月は多くの方から投票を頂きました。

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

- * 東京でもイギリスでも満開の桜を見る事ができたのに慌しく過ごし、花見という感じのゆとりの時間がありませんでしたので、写楽句会で癒された気がしました（EHさん）。

写真俳句 投票数：33

一席

外つ国で通りすがりの花見かな 千泉（11票）

<< 結構あちこちで桜が咲きますが、花見の習慣はありません。>>



- * ローマの遺跡に咲いた満開の桜を見ました。なんら違和感がなく、ビューティフル・ハーモニーな光景でした。
- * 私もだいぶ外国生活も長くなり、すっかりこのような風景に違和感なく春を感じられるようになりました。
- * 自分では撮れそうで撮れない絶妙な写真構図が素敵だなと思いました。色々あった今春の私の心の中の桜風景に近いです。
- * 日本人なら、ただ一本の桜でも、たとえ通りすがりであっても、その目には自然と“花見”の心で映るに違いありません。桜の根元に菜の花ならぬ黄水仙を配して祖国との心象風景を重ねた遠近法が素敵です。真ん中に道があつてつながっているのもなんだか意義深く感じられ、“何気ない俳句”と思いきや、込めた沢山の思いを写真と共に表現している、いい作品！一押しです。
- * そうなんです。イギリスにもいろいろな桜が咲きます。線ではなく「点」でお花見を楽しんでいます。「きれい」だけで終わらないのが桜です。
- * 私も買い物で通りすがりの花見かな していました。こんなところに桜が…と春ならではの楽しさでした。
- * いろいろな国でも桜は咲いているのでしょうか。

- * 今や日本の染井吉野も各国に嫁に行っております 異国でも時期になると綺麗に花を咲かせているのでしょうか。

佳作7句（平成31年4月号掲載順）



御世移り万朶の桜遠のきて iSAMU

<< 令和になりました。あの忌まわしい軍歌「歩兵の本領」に歌われた「万朶の桜」と言っても知っている人も少ないでしょう。>>

- * 「万朶」とはよく言ったものです。見事な花に感慨深い句。
- * 令和の時代も軍靴の響くことが二度と訪れないことを願うばかり。
- * 戦意を高揚させるために桜が用いられた時代を二度と繰り返してはいけませんね。
- * うーん覚えているようないないような。



大仏に諸行無常の花散りて 準坊

<< 静謐な雨上がり大仏と桜が問答をしている様でした。板橋浄蓮寺の東京大仏にて。>>

- * 桜には来し道を振り返らせる力があるようです。
- * 大仏様と桜。ともに心癒される対象ですね。美しい桜が散る定めも仏教の根本説「はかなさ」なのか。
- * 大仏様が、散る花びらの中で、世の移ろいをあたたかく見守っておられるように思えます。

- * 諸行無常が心に響きます。大仏と桜のバランスがとてもいい写真ですね。

平成の最後を締める花見酒 久芽

<< 5月からは元号が変わります。平成を惜しむように盛り上がっておりました。>>

- * 日本ならではの風景。場所取りが大変だったでしょうが、とてもいい雰囲気。「お流れ頂戴」と割り込みたいです。
- * 「平成最後」のワードが溢れた春でした。酒呑みには格好の言い訳ですね。陽気な句で「いいね！」。
- * 桜の下に集える人達の楽しそうな様子が伝わってきます。余分ながら花見の必需品となったブルーシート 無粋、ゴザがいいですね。



捨てたえだ部屋に飾れば家で花見 梵木

- * 私も同じことをしました。
- * 日本人ならではの桜を愛する気持ちですね。“おうち花見”大賛成、要は心ですもの。
- * 天井から丸提灯でもぶら下げてビールを用意して「エア花見」だ。



こがれ

極東の花に憧憬し絵師ゴッホ 北切雀

<< 浮世絵の影響を受けたゴッホは、桜に似たアーモンドの花の作品を、多く残しています。>>

- * 写真が広重の梅に良く似ていて良いですね。
- * 俳句の根拠となる資料も投稿し、努力賞ものです。
- * 浮世絵とゴッホと俳句と写真とが融合された、壮大なスケールの句ですね。
- * ゴッホの絵 日本に影響受けていますね。
- * 写真の構図がゴッホの梅を思わせます。



(広重の梅とゴッホの模写)

(アーモンドの花とゴッホ作品例)



春の宵この一刻を寿がん 昼寝覚

<< 10年ほど前に弘前城公園で撮ったものです。ちょうど人も少なく、よいシャッターチャンスでした。>>

- * これは圧巻。まさにこのひと時を、という気持ちがよくわかります。
- * 春爛漫の中、元号の改元。お祝いや慶びが一層華やかさを添える春です。



平成の終焉告げる残花かな 池福楼

- * 平成の桜も終わり、令和の花が始まりますね。
- * 面白いアングルですね。素顔の桜の美しさ。去りゆく時代への献句。
- * 平成から令和へ良い季節に変わったと思いました。





浦和玉蔵院の枝垂れ桜（撮影：準坊）

俳句 投票数：31

一席

水溜まり桜吹雪を集めをり 準坊（10票）

<< 無情の風に花びらを沢山浮かべる水溜まり。>>

- * 腐っても鯛、散っても桜。別格の美を見せてくれます。
- * 沢山の人々を楽しませてくれて、枝を離れて最後まで水溜りを花びらで飾ってくれて、なんだかとっても感謝したくなります。桜って本当に特別な不思議な木。
- * 雨あがりの路にピンクの絨毯。写俳で鑑賞したい句ですね。
- * 水溜りに降りた花びらは飛ばないので、本当に集めたようですね。
- * 花びらが水溜まりにつかまってしまった。
- * まるで小さな花筏ですね。
- * 桜の散る頃になると、よく見ますね。
- * 水たまりのたくさんの花筏あちこちで見ました。

佳作6句（平成31年4月号掲載順）

桜の木花の終りは小さな葉 梵木

- * 時の流れを素直に観察、受け入れている。
- * 美しい花もまたたく間に散る。人の世の栄枯盛衰を表すように。

花は葉に宴も終わり鳥遊ぶ 昼寝覚

<< 桜の花も散ると、あの騒ぎも終わり日常に戻ります。>>

- * 祭りの後の寂しさがありますね。葉桜に変わるのは本当に早い。
- * 静かな伝統の花鳥図の中に、少し前までの喧噪を伝える。一句の中に時間を凝縮。
- * 鳥も桜の蜜を食べ飽きて次の餌はいずこに。
- * 花見の後の静けさというか、祭りの後のさみしさというのか現実というのか。
- * 新緑の桜も、目に鮮やかでいいものです。

燈火消えひとり月下の花うたげ 池福楼

- * 月明かりだけの夜桜もいいですね。
- * ロマンチック。
- * 賑わう花見よりずっと素敵。確かに大勢の人々で楽しむのも良しですが、この句のように静かに桜の下に佇んで深呼吸して桜の香りを楽しみたいです。
- * 投票数の割り当ての二票をこの句に入れます。自分の年齢もあるのかもしれませんが、深みがある素晴らしい句だと思います。

<< 蕾は膨らんだがまだ寒い日々。一体どんな花を見せてくれるのか。>>

- * 工芸品に使われるように、桜の木肌は美しい。触れたくくなりますね。
- * 曇天に木肌を撫でるという行為も発想も素晴らしいと思います。
- * どんな花を咲かせてくれるのだろう！ 気持ちが伝わってきます。特に曇天としたのが良いと思いました。

楽しげな写真嬉しむ花便り 千泉

<< 令和にならい嬉しく思う事を嬉しむとしました。>>

- * 写真がこれだけ手軽になったテクは嬉しいことです。
- * 遠く離れた実家が友人から届いたメールの画像か？「嬉しむ」は和歌にもあるそうで古典ブームに合わせたセンスがいいね。

飛花浴びてゆっくりゆっくと車椅子 久芽

<< 車椅子の方、いっぱい桜を浴びて楽しんでいるのでしょうか。>>

- * 車椅子の花見には、苦い親不孝な思い出があります。
- * 車椅子のお年寄りや介護者の笑顔。桜の下、優しくゆっくりとした時が流れる。
- * 最近は車椅子の人が多そうですね。作者の優しさが伝わります。
- * ほのぼのとした光景ですね。ただ、「ゆっくりゆっくと」の「と」は不要では？

写真いいね！

* 今月の写真は全部「いいね！」。見事な桜の写真、どれも素晴らしいです（NGさん）。



春の宵この一刻を寿がん

昼寝覚

推薦者：2名

- * 桜は美しいですね。一つに絞り切れません。1と7、どちらにするか甲乙つけがたいです。（ESさん）
- * CSさん



平成の終焉告げる残花かな

池福楼

推薦者：1名

- * 今月はどの写真も素晴らしいですが、特に「平成の・・・」の写真が「いいね！」（NGさん）。



御世移り万朶の桜遠のきて

iSAMU

推薦者：1名

* CSさん

短歌

たゆとつて
水面賑わす花筏
錦の鯉も
色添えに来て

準坊

<< 花筏を壊さずに静かに泳ぐ錦鯉。 >>

- * 「たゆとつて」美しい日本語ですね。
錦鯉も浮かれているような
雅の季節を詠んで秀逸な歌と画像です。
- * 花筏に気を使う風流な鯉。
- * 準坊さんの短歌、写真いいですね。



朝の陽に桜吹雪の煌めくや慈悲の心で姉は旅立つ 池福楼

<< 訃報を聞いた日の心境を短歌にしました。 >>

- * ようよう冬を抜けた明るい春に落とし穴の闇。合掌。

元号は令和となりました。皆さまこれからも引き続きよろしくお願いたします。

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 水無月6月兼題は読者KHさんから「雨」、文月7月は北切雀から「海」と出ています。
- * 皐5月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 皐5月号への投票、水無月6月号作品への投稿の締め切りはともに6月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会041 (連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com)

© 2019 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

